

姨捨に舞う オオルリシジミ もっともっと

年 組 名前

絶滅危惧種のチョウ「オオルリシジミ」の復活に取り組む「姨捨の棚田オオルリシジミ保存会」が大型連休中、昨年続き千曲市の棚田周辺にさなぎを放す作業をしました。同会の取り組みについて、記事を読んでみましょう。

- ①同会は何を目指し、どんな作業をしましたか。リード（第1段落）を読み、（ ）に入る言葉を書きましょう。

（ ）ほど前まで一帯に舞っていたというオオルリシジミの（ ）を目指し、（ ）を丁寧に（ ）に埋めた。

- ②同会は昨年、棚田でオオルリシジミが舞う光景を再現しようと、初めて何匹のさなぎを放し、何匹の羽化を確認しましたか。今年は、何匹に増やしましたか。

昨年放したさなぎの数—

羽化を確認した数—

今年放したさなぎの数—

- ③参加者は、何の根元に、どうやって黒いさなぎを埋めましたか。

何の根元—

どうやって—

- ④同会が昨年12月、オオルリシジミの保存活動を支援するために更級農業高校や企業5社、県と結んだ協定を、何とといいますか。

- ⑤矢島宏雄事務局長は、何と話していますか。

姨捨に舞う

オオルリシジミ

もっともっと



昨年、羽化したオオルリシジミ

千曲の保存会員ら さなぎを柵田周辺に

千曲市の国名勝「姨捨の柵田」で絶滅危惧種のチョウ「オオルリシジミ」の復活に取り組む「姨捨の柵田オオルリシジミ保存会」が大型連休中、昨年に続いて柵田の周辺にさなぎを放す作業をした。会員その他、更級農業高校（長野市）の生徒、柵田保全団体の関係者を含む20人が参加。30年ほど前まで一帯に舞っていたというオオルリシジミの自然繁殖を目指し、さなぎを丁寧に地中に埋めた。



クララの根元にさなぎを放す参加者

同会は昨年、柵田でオオルリシジミが舞う光景を再現しようと、初めて16匹のさなぎを放し、7匹の羽化を確認した。今年は90匹に増やして実施。参加者は幼虫の食草クララの根元に割り箸で1センチほど穴を掘り、黒いさなぎを埋めた。順調に育てば、3週間ほどで羽化する見込み

だ。同校2年の西原希美さん（16）は「どう成長するのか気になる。良い経験ができた」と話した。同じく2年の山田怜和さん（16）は中学3年の時に同校の体験入学でオオルリシジミの保存活動を知り、進学するきっかけの一つになったという。「さなぎは思ったより柔らかかった。どう育つか楽しみ」と期待していた。

同会は2020年7月に発足。東御市の「北御牧のオオルリシジミを守る会」から、かつて姨捨に生息した個体に近い遺伝子を持つ幼虫47匹の提供を受けて飼育を始めた。今年は埋めた分も含め約290匹まで増やした。幼虫の増殖に加え、クララの栽培も進めている。昨年12月には更級農業高校や企業5社、県と保存活動を支援する「生物多様性保全パートナーシップ協定」を結んだ。

昨年入会した同校3年の大内寛貴さん（17）は耕作放棄された柵田でのクララ栽培にも協力。「将来、繁殖が進めば景観や環境も良くなる。観光する人も増えるといい」。保存会の矢島宏雄事務局長は「市民や柵田関係者、企業みんなで保護活動を進めたい」と話している。

姨捨に舞う オオルリシジミ もっともっと

解答例

年 組 名前

絶滅危惧種のチョウ「オオルリシジミ」の復活に取り組む「姨捨の棚田オオルリシジミ保存会」が大型連休中、昨年続き千曲市の棚田周辺にさなぎを放す作業をしました。同会の取り組みについて、記事を読んでみましょう。

- ①同会は何を目指し、どんな作業をしましたか。リード（第1段落）を読み、（ ）に入る言葉を書きましょう。

（ 30年 ）ほど前まで一帯に舞っていたというオオルリシジミの（ 自然繁殖 ）を目指し、（ さなぎ ）を丁寧に（ 地中 ）に埋めた。

- ②同会は昨年、棚田でオオルリシジミが舞う光景を再現しようと、初めて何匹のさなぎを放し、何匹の羽化を確認しましたか。今年は、何匹に増やしましたか。

昨年放したさなぎの数— 16匹 羽化を確認した数— 7匹

今年放したさなぎの数— 90匹

- ③参加者は、何の根元に、どうやって黒いさなぎを埋めましたか。

何の根元— 幼虫の食草クララ

どうやって— 割り箸で1割ほど穴を掘って

- ④同会が昨年12月、オオルリシジミの保存活動を支援するために更級農業高校や企業5社、県と結んだ協定を、何とといいますか。

【解答】 生物多様性保全パートナーシップ協定

- ⑤矢島宏雄事務局長は、何と話していますか。

【解答】 市民や棚田関係者、企業みんなで保護活動を進めたい